

## 平成 26 年度富山県認知症高齢者実態調査の結果の概要について

### ○ 目的

県内在住の認知症高齢者の実態を把握し、高齢化・重度化に応じたきめ細かな認知症ケアを提供するための基礎資料を得る。

### ○ 方法及び時期

#### (1) 第一次調査（平成 26 年 6 月～8 月）

県厚生センター職員及び県が委託した市町村等の調査員が調査対象者宅等を訪問し、本人及び家族等から聞き取り調査を行った。

#### (2) 第二次調査（平成 26 年 10 月～12 月）

精神科医及び厚生センター・保健所の保健師が調査対象者宅等を訪問し、本人に面接して調査を行った。

### ○ 調査対象

#### (1) 第一次調査

65 歳以上人口 307,582 人(平成 25 年 10 月 1 日現在)の 0.5%（無作為抽出）1,537 人

#### (2) 第二次調査

第一次調査の結果、認知機能の低下等があると疑われた高齢者 252 人

### ○ 有効回答

(1) 第一次調査 1,303 人（対象者の 84.8%） 男性 552 人(42.4%) 女性 751 人(57.6%)

(2) 第二次調査 180 人（対象者の 71.4%） 男性 81 人(45.0%) 女性 99 人(55.0%)

平均年齢 83.22 歳（H13:81.9 歳）

### <主な結果>

(1) 認知症高齢者の有病率は 15.7%で前回より増加（H13：8.8%）

※この割合による県内の認知症高齢者の総数(推計) 約 5 万人（65 歳以上人口 316,923 人×有病率 15.7% = 49,757 人）

(2) アルツハイマー型認知症 67.8%(H13:49.7%)、脳血管性認知症 12.3%(H13:32.1%)

(3) 要介護認定を受けていない認知症高齢者は 24.7%

(4) 症状に気付いてからの受診ありは 60.3%

(5) 気づいた理由として最も多いのは「物忘れ」74.0%、次いで「記銘力の低下」54.1%、「理解力・判断力の低下」34.9%であった。

(6) 徘徊、興奮、昼夜逆転など何らかの周辺症状がある者は 61.6%

症 状	攻 撃	興 奮	介 護 へ の 抵 抗	不 潔	昼 夜 逆 転	徘 徊
出 現 %	19.2%	17.8%	16.4%	16.4%	14.4%	11.0%

(7) 介護者の平均年齢は 67.7 歳で前回調査（H13:60.8 歳）より 6.9 歳上昇

(8) 介護者の性別は女性 77.3%、男性 22.7%で前回調査より男性の割合(11.5%)が増加

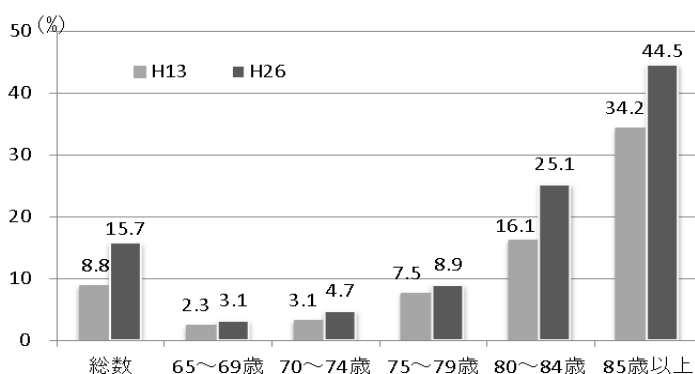
# I 認知症高齢者の状況

## 1 認知症の有病率、種類、程度等

### (1) 認知症高齢者の有病率 (65歳以上人口100対)

- ・有病率は15.7で前回調査(H13:8.8)より増加(H8:7.2、H2:5.7、S60:4.7)
- ・男性14.2より女性16.9に高い
- ・年齢別では、年齢が高くなるほど高く、全ての年代で前回調査より増加
- ・基準人口(S60年の全国人口)による年齢調整有病率は9.6(H13:7.0)

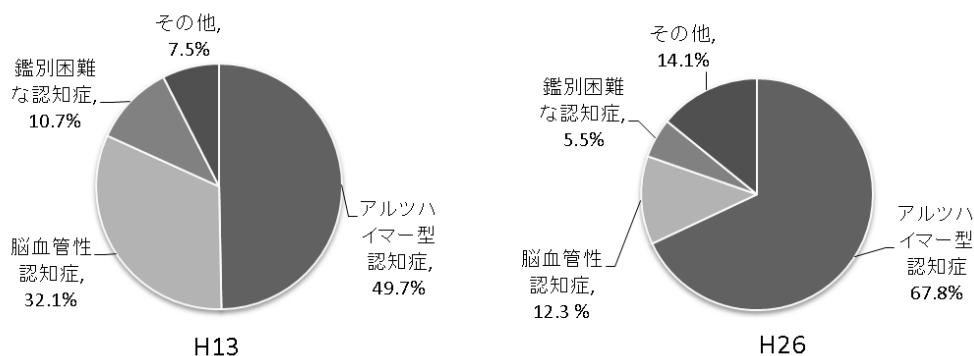
年齢階級別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
H26有病率	15.7	3.1	4.7	8.9	25.1	44.5
*参考(H13)	8.8	2.3	3.1	7.5	16.1	34.2



### (2) 認知症の種類

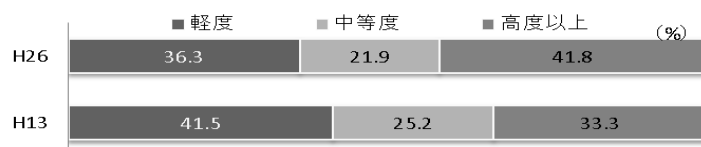
アルツハイマー型認知症 67.8%、脳血管性認知症 12.3%、鑑別困難な認知症 5.5%、その他の認知症 14.1%

(H13:アルツハイマー型認知症 49.7%、脳血管性認知症 32.1%、鑑別困難な認知症 10.7%、その他の認知症 7.5%)



### (3) 認知症の程度

認知症の程度は、軽度 36.3%、中等度 21.9%、高度以上 41.8%と前回調査(H13:軽度 41.5%、中等度 25.2%、高度以上 33.3%)と比較し高度以上(重度)の割合が高かった。



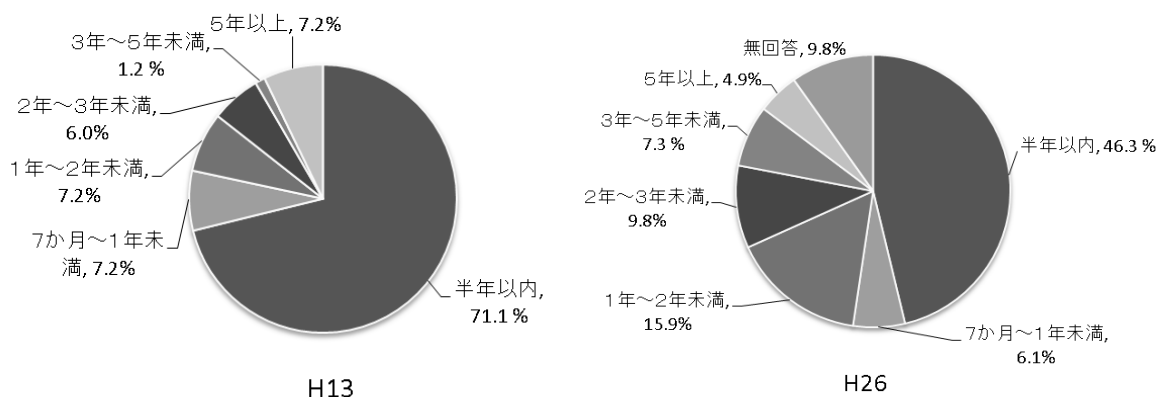
(4) 家族等が本人の症状に気付いたきっかけ ※複数回答

物忘れ(74.0%)が最も多く、次いで記銘力の低下(54.1%)、理解力・判断力の低下(34.9%)、意欲・関心の低下(19.9%)であった。

その他、「好きな日課をしなくなった」、「車の運転が下手になった」、「妻の帰りを待つようになった」、「物を盗られたと言う」、「貸したものが返ってこないと言う」、「怒りっぽくなった」などの回答があった。

(5) 受診の状況

- ・症状に気付いてからの受診ありは 60.3%
- ・受診までの期間は、半年以内 46.3%(H13:71.1%)、1年未満 6.1%(H13:7.2%)、2年未満 15.9%(H13:7.2%)、3年未満 9.8%(H13:6.0%)、5年未満 7.3%(H13:1.2%)



(6) 主要な行動・症状

- ・何らかの周辺症状がある者は 61.6%
- ・主要な行動・症状(※複数回答)としては、攻撃(19.2%)、興奮(17.8%)、介護への抵抗(16.4%)、不潔(16.4%)、昼夜逆転(14.4%)、徘徊(11.0%)

症状	攻撃	興奮	介護への抵抗	不潔	昼夜逆転	徘徊
出現%	19.2%	17.8%	16.4%	16.4%	14.4%	11.0%

(7) 要介護認定の状況

認定なし(24.7%)、要支援1・2(2.7%)、要介護1・2(26.0%)、要介護3・4・5(46.6%)



(8) 居場所

在宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅等含む) 59.6%、入所 31.5%、入院 8.9%

## 2 身体的健康状態

### (1) 既往歴

高血圧症(44.5%)が最も多く、次いで骨折(27.4%)、糖尿病(24.7%)、脳卒中(19.2%)であった。脳卒中、狭心症・心筋梗塞、骨折、糖尿病が、認知症の高齢者に多かった。

### (2) 現在治療中の病気

高血圧症(40.4%)が最も多く、次いで糖尿病(23.3%)、脳卒中(15.1%)、狭心症・心筋梗塞(15.1%)であった。

### (3) 身体的機能

認知症高齢者は、認知症なしの高齢者に比べ、「聴力」「視力」「歩行」「咀嚼」の機能が低下している者の割合が高かった。

特に、歩行については、認知症の2人に1人が「歩行が不自由あるいは困難」であった。

### (4) 日常生活状況

認知症高齢者は、認知症なしの高齢者に比べ、「着替え」「入浴」「排泄」に介助を必要とする割合が高かった。

## 3 介護者の状況 (在宅者のうち介護が必要な者の状況)

### (1) 性別

男性 22.7%、女性 77.3%(H13:男性 11.5%、女性 88.5%)、平均年齢 67.7 歳(H13:60.8 歳)



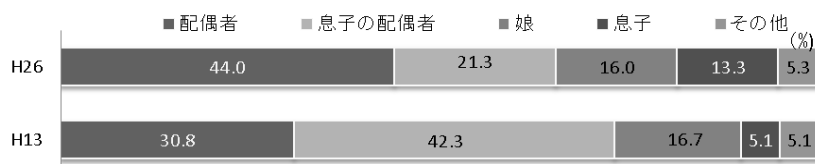
### (2) 平均介護期間

4 年 2 か月 (H13:4 年 2 か月)

### (3) 介護者の続柄

配偶者 44.0%、息子の配偶者 21.3%、娘 16.0%、息子 13.3%、その他 5.3%

(H13: 配偶者 30.8%、息子の配偶者 42.3%、娘 16.7%、息子 5.1%、その他 5.1%)



### (4) 介護者の現在の職業

無職 53.3%、非常勤 18.7%、自営業 17.3%、常勤 10.7%

(H13: 無職 59.0%、非常勤 10.3%、自営業 14.1%、常勤 16.7%)

### (5) 介護による仕事の変更

勤務時間を減らした 9.3%、仕事を辞めた 8.0%、職場を変えた 2.7%

## (6) 介護の代替者

家族や親族等に介護の代替者がいない者は 21.3%

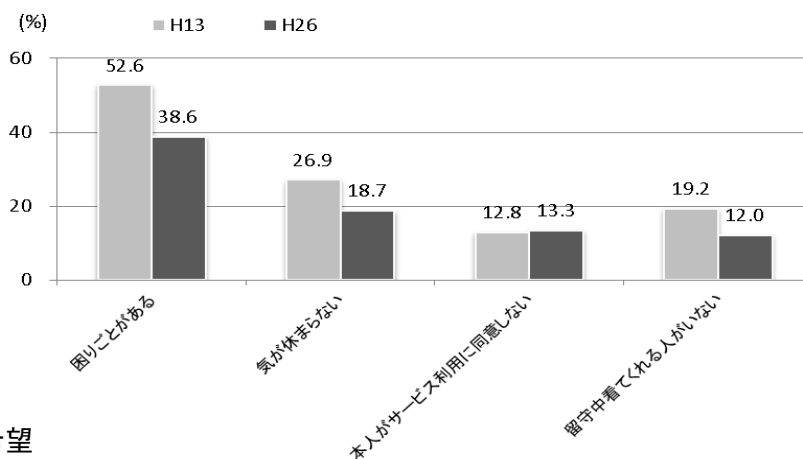
## (7) 介護者の疾病

治療が必要な疾患がある者は 57.3%

## (8) 介護上の困りごと

困りごとがある者は 38.6% (H13 : 52.6%)

主な内訳 (※複数回答) は、気が休まらない 18.7% (H13:26.9%)、本人がサービス利用に同意しない 13.3% (H13:12.8%)、留守中見てくれる人がいない 12.0% (H13:19.2%) など。その他として、「本人の興奮・大声・易怒・暴言・暴力の対応が困難」、「入浴・着替えを拒む」など。



## (9) 施設への入所希望

今すぐにでも利用したいと回答した者は、本人 1.3%、家族 6.7%

## 4 高齢者施策への要望等

行政に望むこととして最も多かった回答 (※複数回答) は、「介護を受けられる入所施設の充実」32.9%、次いで「見守りや安否確認ができる体制の充実」21.2%、「居宅介護サービスの充実」20.5%、「在宅療養に必要なサービスの充実」15.8%、「介護保険対象外の日常生活支援サービスの充実」15.8%であった。

その他の意見として、「運転免許を返納するタイミングが難しい」や「参加しやすい介護家族教室等の創設」、「短時間預かりなど利用しやすい制度の創設」などであった。

(H13:「老人ホームなど福祉施設の増設」37.7%、「短期間高齢者を預かってくれる施設の充実」37.3%、「通所サービスの充実」24.5%など)

## II 高齢者の生活・健康状態(第一次調査の結果)

### 1 生活状況

#### (1) 家族構成

- ・一人暮らし世帯は 13.2% (H13 : 10.0%)、夫婦のみ世帯は 28.6% (H13 : 22.7%)
- ・平均家族人員は 3.17 人 (H13 : 3.7 人)

## (2) 外出状況

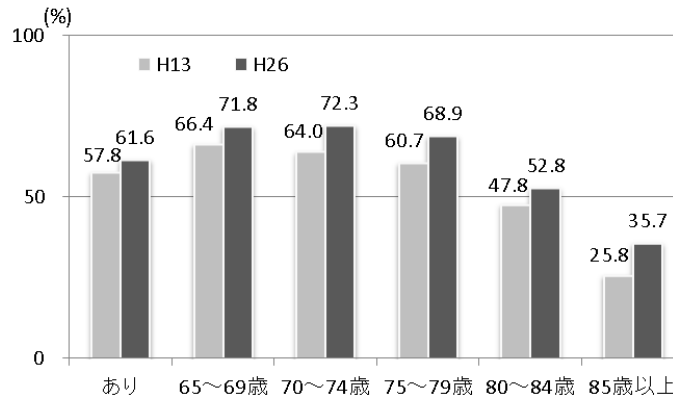
- ・バスや自家用車等で外出している者は76.0%で前回調査（H13：64.6%）より増加

## (3) 家庭内での役割

- ・家庭内での役割「あり」は、男性77.4%(H13:75.8%)、女性83.0%(H13:85.6%)
- ・男性に多い役割は庭の手入れ、女性に多い役割は家事

## (4) 社会参加

- ・社会参加「あり」と回答した者は61.6%（H13：57.8%）  
65～69歳(71.8%)、70～75歳(72.3%)、75～79歳(68.9%)、80～84歳(52.8%)、85歳以上(35.7%)



## (5) 仕事

- ・収入を得る仕事をしている者は23.1%で前回調査（H13：25.2%）とほぼ同率  
65～69歳(44.9%)、70～75歳(28.7%)、75～79歳(19.9%)、80～84歳(9.5%)、85歳以上(3.9%)

## (6) 喫煙

- ・喫煙習慣のある者は8.7%(H13：14.3%)で前回調査より低下  
65～69歳(13.4%)、70～74歳(9.8%)、75～79歳(10.4%)、80～84歳(5.2%)、85歳以上(2.6%)

## 2 健康状況

### (1) 現在治療中の病気

高血圧症(43.5%)、高脂血症(15.0%)、糖尿病(14.3%)の順に多い

### (2) 家族からみた本人の様子

気になることは、もの忘れ(8.0%)、睡眠(6.7%)、意欲(7.1%)に関することが多い

### (3) 既往歴

- ・高血圧症(46.8%)が最も多く、次いで高脂血症(16.7%)、骨折(15.9%)
- ・男性より女性に多い疾患は、骨折、関節疾患、骨粗鬆症、高脂血症、甲状腺疾患、うつ
- ・女性より男性に多い疾患は、糖尿病、消化器疾患、悪性新生物、脳卒中、心筋梗塞

## 3 物忘れの状況（家族からの聞き取り）

### (1) 物忘れ

- ・「やや気になる」「とても気になる」は合わせて26.2%、年齢が高くなるほど増加  
65～69歳(18.7%)、70～74歳(18.9%)、75～79歳(28.8%)、80～84歳(29.6%)、85歳以上(39.1%)

### (2) 探し物（行動）

- ・「時々ある」「よくある」は合わせて33.4%、年齢が高くなるほど増加  
65～69歳(26.5%)、70～74歳(28.8%)、75～79歳(31.7%)、80～84歳(43.0%)、85歳以上(39.9%)